

シローズ

# 強化される 米軍・自衛隊基地

招国平和懇親会事務局長

吉岡光則さん



米海兵隊着陸場（山口県岩国市）は滑走路沖合「移設」で大拡張され、厚木基地（神奈川県）から移駐してきた米海軍航空艦載機約60機、昨年32機に増強されたF-35B戦闘機部隊など米海兵隊の拠点になっています。もはや米陸海空海兵隊の4軍の航空部隊、補給部隊、空と陸の拠点（そのためのくじや車両の積みいだん）・出撃拠点といつて聞かれてしましました。空軍の戦大な基地になっています。佐

略爆撃機やスティルズ戦闘機

も、作戦のために飛来しました。

今年2月の日米合同演習「アイン・フィスト23」では、広島湾の岩国基地沖で、

米海軍の揚陸艦と海上自衛隊

も、作戦のために飛来しました。今年2月の日米合同演習「アイン・フィスト23」では、「市民の目に見える行動

LCA（Hアクション型揚陸艇）を相互に発進・収容する訓練を行いました。

た。「市民の目に見える行動」を」と、2月19日には「米兵犯罪を許さない市民集会」を開き、約200人の市民が参

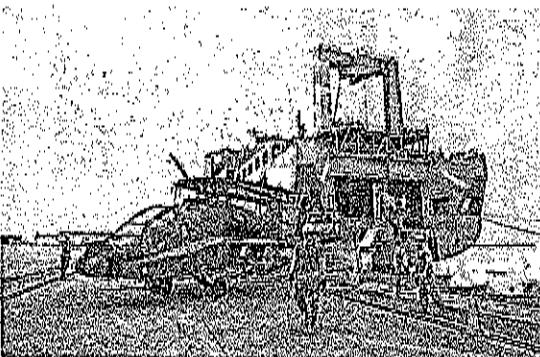
加しました。

しかし、岩国基地の重大な

事件が起きました。被害者本人が、顔も名前も出して、犯人の処罰・謝罪・損害賠償を求めて声をあげたことにより、市民的たたかいとなり、地位協定改定を求める署名運動も展開されました。これは、岩国市長も「独りに地位協定改定を求める」と表明し、署名にも応ぜざるを得ませんでした。

そのなかで山口地検岩国支部は今年2月、容疑者の海兵隊員を在宅起訴しました。

「住民投票を力にする会」



日本同演習オフィント・シールド21-2で使用するため米海軍輸送艦から降ろされた米陸軍ヘリコプター（2021年6月24日、山口県岩国市（米国防総省映像撮報配信サービス））

大型輸送艦「おおすみ」がLCAC（Hアクション型揚陸艇）を相互に発進・収容する訓練を行いました。

しかし、岩国基地の重大な事件が起きました。被害者本人が、顔も名前も出して、犯人の処罰・謝罪・損害賠償を求めて声をあげたことにより、市民的たたかいとなり、岩国市民が戦争の間接的加害者とされ、同時に直接の被害者にされる危険性が格段に高まっていることについて、まだ市民の共通意識じはないかもしれません。市当局は元気続き「基地と共生するまちづくり」をかけ、防衛省ルートの各種補助金や特別再編交付金に依存する市政を続けています。

平和懇親会や「住民投票を力とする会」はもうひとつの市民の目や耳に訴える活動を強化していくかねばならないことがあります。